

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

年 月 日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県小野市匠台18

氏名 日本ハムファクトリー株式会社兵庫工場
兵庫工場長 石留保男

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0794-62-7172

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本ハムファクトリー株式会社 兵庫工場
事業場の所在地	兵庫県小野市匠台18
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 別紙1, 2のとおり
(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙1, 2のとおり			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

②計画	【目標】	別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和 1 年度)実績量

計画：今年度(令和 2 年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥	26.3	25.8									26.3	25.8	9.3	9.1	17.3	16.9			9.3	9.1
0300廃油	0.4	0.4									0.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.4			0.0	0.0
0400廃酸																				
0500廃アルカリ																				
0600廃プラスチック類	532.0	521.4									532.0	521.4	214.0	209.8	336.7	330.0			196.3	192.3
0700紙くず																				
0800木くず																				
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣	544.5	533.6									544.5	533.6	31.3	30.7	513.7	503.4			31.3	30.7
1100ゴムくず																				
1200金属くず																				
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																				
1400鉱さい																				
1500がれき類																				
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
2500水銀使用製品産業廃棄物	0.2	0.2									0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2			0.0	0.0
合計	1,103.4	1,081.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,103.4	1,081.4	254.6	249.5	868.3	851.0	0.0	0.0	236.8	232.1

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	0912 肉加工品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 1,567千万円
③従業員数	428人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3、4の通り

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

別紙5の通り

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IS014001における省資源化の活動による削減があったが、突発廃棄が昨年以上に発生したことから、全体排出が昨年並みに留まり、昨年より原単位比で増加した。
②計画	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続きIS014001の省資源化の活動を行うとともに、廃棄物の排出抑制を推進していく。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工程毎に発生した物を、各種類別に区画された一時保管場所に分別収集し管理する。
②計画	<p>（今後，分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き分別収集、管理を行うとともに、工程内の廃棄物分別の推進を行う。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

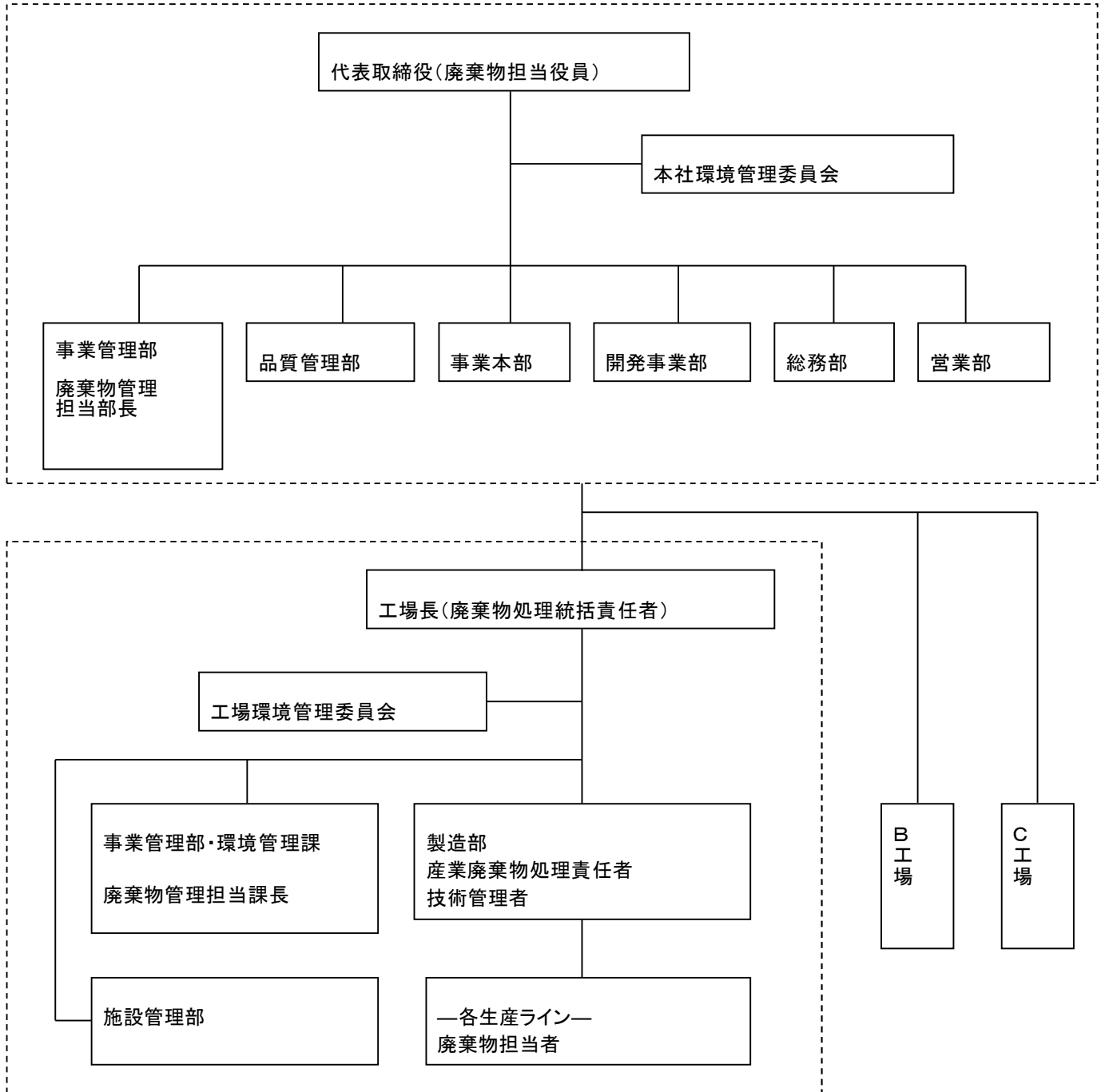
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

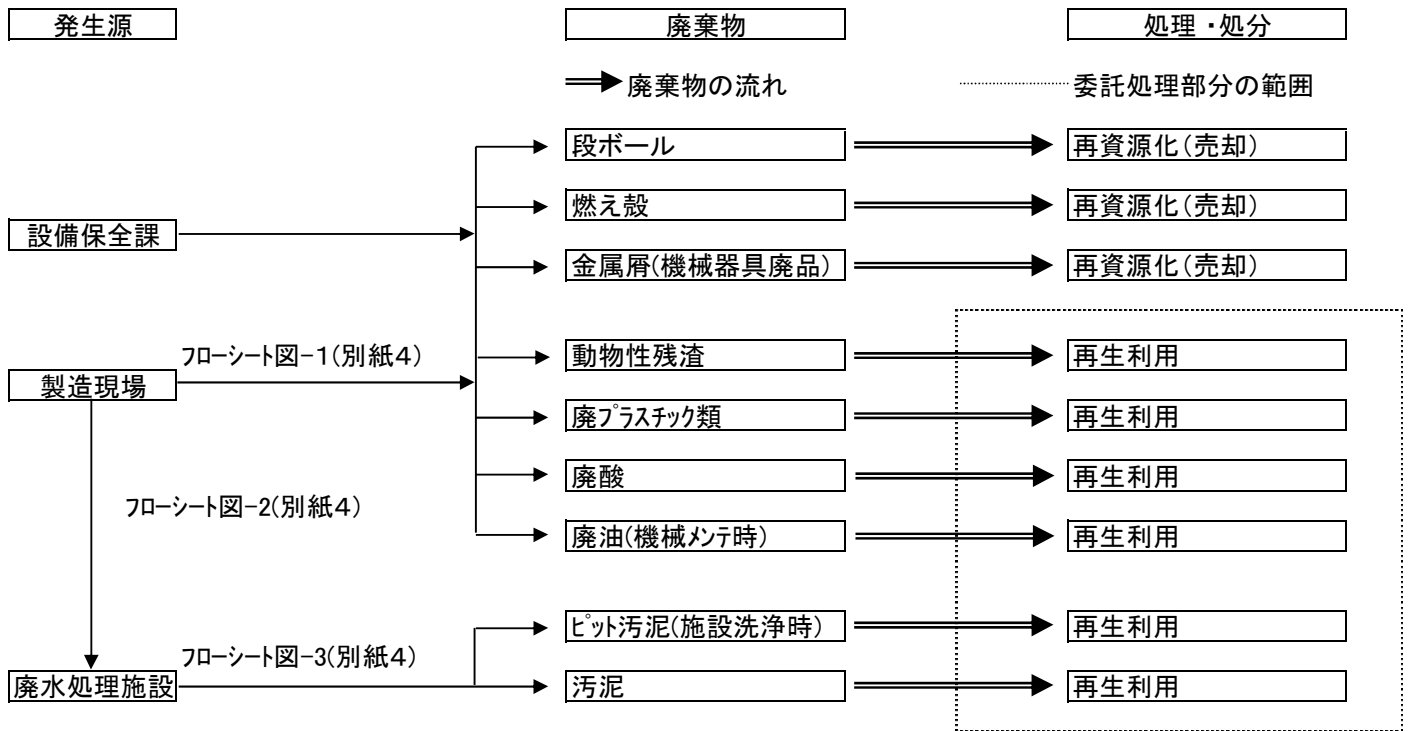
①現状	(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者、再生利用割合が高い業者、減容率が大きい業者への委託を行うことにより、最終処分の割合を低いレベルで維持した。
②計画	(今後実施する予定の取組) ・引き続き、優良認定処理業者、再生利用割合が高い業者、減容率が大きい業者への委託を行うことにより、最終処分の割合を低いレベルで維持する。

管理体制図の例



別紙3(当該事業場において現に行っている事業に関する事項)

④産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙4(製造等フローシート)

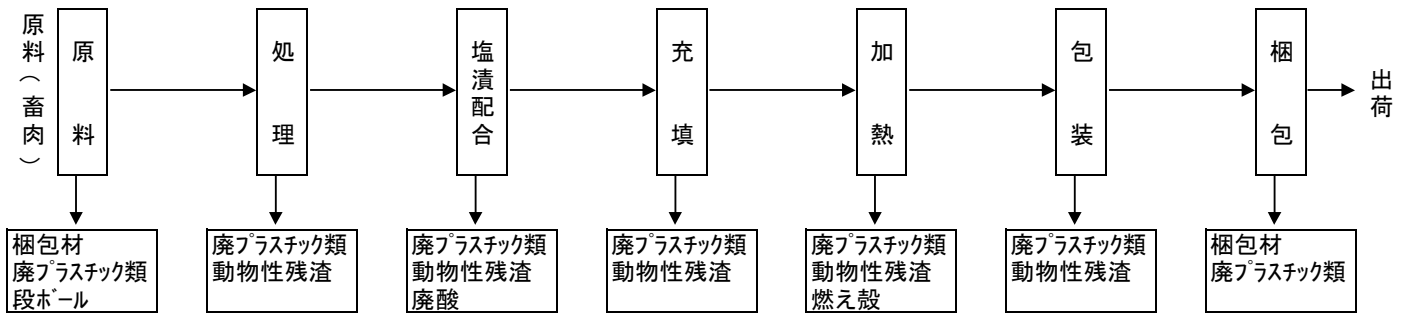


図-1 ハム・ソーセージその他製造フローシート

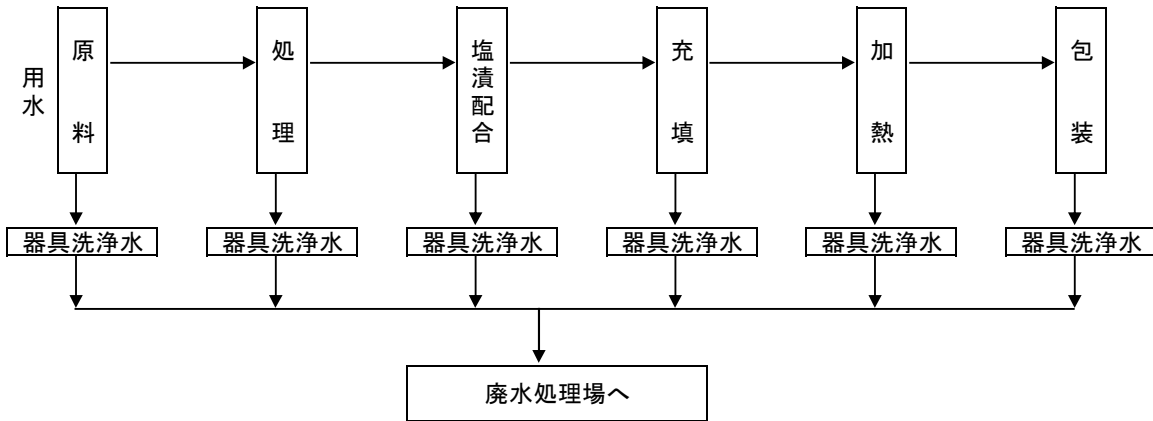


図-2 排水系統フローシート

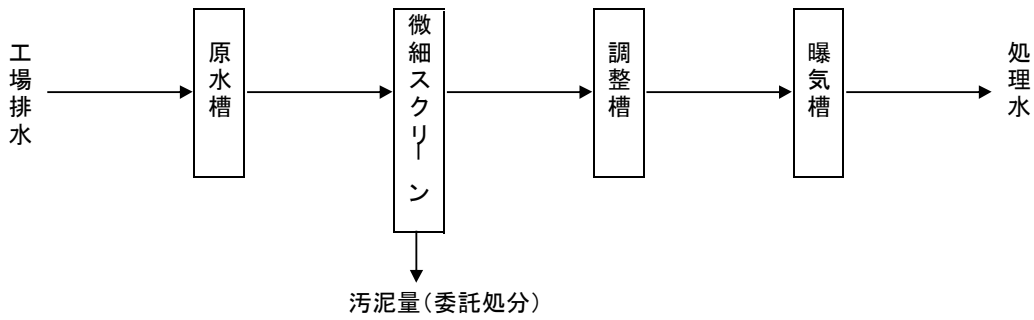


図-3 廃水処理場フローシート

別紙5(産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項)

(1)責任者及び管理組織図

統括責任者	所属：日本ハムファクトリー(株)兵庫工場 工場長	
廃棄物担当	組織名：設備保全課 組織人数：10人	
役割	工場管理職会議	<ul style="list-style-type: none"> * 廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生、再生利用、処理計画及び管理一般の検討 ・工場長及び全管理職(課長以上)
	統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> * 廃棄物処理に関する検討の決定、承認 * 廃棄物処理計画の決定、承認
	廃棄物担当課長	<ul style="list-style-type: none"> * 廃棄物処理計画の作成 * 廃棄物管理状況の把握 * 廃棄物処理施設の運転、維持管理 * 廃棄物処理業者、再生利用業者調査、選定及び管理 * 廃棄物処理委託契約の締結 * 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付・管理 * 監督官庁への各種報告 * 社員、関連会社に対する教育・啓蒙 * その他関係する事項

廃棄物管理組織

